

TRANSMITTING INFORMATION SYNTHESIZING AND PREPARING DEVICE FOR FACSIMILE

Publication number: JP4090667

Publication date: 1992-03-24

Inventor: KAMIKURA TAKASHI; KOMACHI YOSHIKI;
SAKASHITA HAJIME; HOSAKA TAKAHARU; KIDO
NAOHARU

Applicant: FUJI XEROX CO LTD

Classification:

- international: H04N1/387; H04N1/393; H04N1/387; H04N1/393;
(IPC1-7): H04N1/387; H04N1/393

- European:

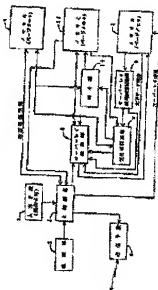
Application number: JP19900206965 19900803

Priority number(s): JP19900206965 19900803

Report a data error here

Abstract of JP4090667

PURPOSE: To enlarge the information amount of transmitting source information and to prevent time for communication from being prolonged or recording paper sheets on the reception side from being wasted by reducing either the character data part of transmitting information or that of overlay information and synthesizing it in the blank area of transmitting information. **CONSTITUTION:** This device is composed of an input means 1, reading part 2, main control part 3, 1st-3rd memories 4, 5 and 11, overlay information extraction control part 6, blank area search part 7, overlay control part 8, transmitting means 9 and reduction part 10. Then, when there is no blank area in a certain size to synthesize desired information in the transmitting information, the transmitting information is reduced so as to forcibly prepare the blank area in a size to synthesize desired information, and the character data part of an original for overlay is synthesized in this blank area and transmitted. Thus, the information amount of the transmitting source information can be enlarged, and the time for communication is prevented from being prolonged or the recording paper sheets on the reception side is prevented from being wasted.



㊦ 公開特許公報(A) 平4-90667

㊧ Int. Cl.⁸

H 04 N 1/387
1/393

識別記号

序内整理番号

8839-5C
8839-5C

㊨ 公開 平成4年(1992)3月24日

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全9頁)

㊩ 発明の名称 ファクシミリの送信情報合成装置

㊪ 特 願 平2-206965

㊫ 出 願 平2(1990)8月3日

㊬ 発 明 者 神 蔵 隆 埼玉県岩槻市市内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

㊭ 発 明 者 小 町 義 明 埼玉県岩槻市市内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

㊮ 発 明 者 坂 下 誠 埼玉県岩槻市市内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社岩槻事業所内

㊯ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社 東京都港区赤坂3丁目3番5号

㊰ 代 理 人 弁理士 平木 道人 外1名
最終頁に続く

明 細 書

1. 発明の名称

ファクシミリの送信情報合成装置

2. 特許請求の範囲

(1) 送信原稿の空白域に所望の情報をオーバーレイ(合成)するようにしたファクシミリの送信情報合成装置であって、

オーバーレイを指示する手段を少なくとも備えた入力手段と、

入力されたオーバーレイ用情報を一旦格納する第2のメモリと、

読み込まれた送信原稿情報を一旦格納する第1のメモリと、

前記第1のメモリおよび第2のメモリに格納された情報の一方を縮小する縮小部と、

前記縮小部によって縮小された情報を格納する第3のメモリと、

前記第3のメモリに格納された縮小情報と、非縮小情報とを互いに重ならないように合成するオーバーレイ制御部とを具備したことを特徴とする

ファクシミリの送信情報合成装置。

(2) 送信原稿の空白域に所望の情報をオーバーレイ(合成)するようにしたファクシミリの送信情報合成装置であって、

オーバーレイを指示する手段を少なくとも備えた入力手段と、

入力されたオーバーレイ用情報を一旦格納する第2のメモリと、

読み込まれた送信原稿情報を一旦格納する第1のメモリと、

前記送信原稿情報の中に、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域を抽出できない時、前記第1のメモリの送信原稿を縮小する縮小部と、

前記縮小部によって縮小された送信原稿を格納する第3のメモリと、

前記第3のメモリに格納された送信原稿情報から、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域を抽出し、その先頭アドレスを求める空白域探索部と、

前記空白域に前記オーバーレイ情報の情報部分を合成し、前記第3のメモリの空白域に格納するオーバーレイ制御部とを具備したことを特徴とするファクシミリの送信情報合成作成装置。

(3) 送信原稿の空白域に所望の情報をオーバーレイするようにしたファクシミリの送信情報合成作成装置であって、

オーバーレイを指示する手段を少なくとも備えた入力手段と、

入力されたオーバーレイ用情報を一旦格納する第2のメモリと、

送達された送信原稿情報を一旦格納する第1のメモリと、

前記送信原稿情報の中に、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域を検出できない時、前記第2のメモリのオーバーレイ情報の情報部分を縮小する縮小部と、

前記縮小部によって縮小されたオーバーレイ情報を格納する第3のメモリと、

前記第3のメモリに格納された送信原稿情報が

ら、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域を検出し、その先頭アドレスを求める空白域探索部と、

前記空白域に前記オーバーレイ情報の情報部分を合成し、前記第1のメモリの空白域に格納するオーバーレイ制御部とを具備したことを特徴とするファクシミリの送信情報合成作成装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明はファクシミリの送信情報合成作成装置に関し、特に送信情報およびこれの空白域に合成する情報のいずれか一方を縮小して合成できる、または送信情報の中に、所望の情報を合成できる大きさの空白域が存在しない場合、前記送信情報を縮小して前記所望の情報を合成できる大きさの空白域を強制的に作るか、または前記所望の情報を縮小するかして、前記送信情報の中に、所望の情報を合成するようにしたファクシミリの送信情報合成作成装置に関する。

(従来の技術)

ファクシミリの送信情報に、発信者情報や受信者情報、コメント等の情報を付加して相手方に送信する従来方式としては、下記のようなものがある。

(1) 入力手段からコメント、メッセージ等のヘッダー情報をコードで入力しておき、メモリに予め記憶しておく。そして、画情報の送信時に、日付、発信者名等のヘッダー情報と前記コメント、メッセージ等のヘッダー情報を組合わせ、コード・イメージ変換をして、送出すべき画像データのヘッダーに付加して送信する。(特開昭52-269551号公報)。

(2) ワンタッチダイヤルボタンに対応させて、相手先の電話番号と受信者の名称とをメモリに登録しておき、画情報の送信時に、該ワンタッチダイヤルボタンが押されると、前記メモリから受信者の名称を読みだし、これを送信情報のヘッダーに付けて送信するようにする(特開昭52-30048号公報)。

(3) 手書き原稿により形成された発信元情報が

読取部から読み込んでメモリに記憶し、次に送信情報を跳込む。そして、該メモリに格納された発信元情報を先に回線に送出し、次いで送信原稿を送出する(特開昭52-31258号公報)。

(4) 予め、必要な発信者名、受取人、送信枚数等の発信元情報を装置内部に記憶させておき、原稿情報の送信に先だって、前記発信元情報に基づいて送信経路表を作成・送信し、次いで原稿情報の送信をする(特開昭53-284971号公報)。

(5) 予め、宛先用紙のフォーマットをメモリに記憶しておき、送信時に宛先名や発信名等を操作ボタンから入力して宛先用紙の送信データを作成する。その後、前記宛先用紙の送信データを送り、次いで原稿情報を送信する。受信側では、宛先用紙と原稿情報とが別個の用紙にプリントアウト(特開昭53-59314号公報、実開昭53-113375号公報)。

(発明が解決しようとする課題)

前記先行技術の(1)～(3)は発信元情報がヘッ

ダーの一部として送信するものであり、発信元情報の情報量を多くできないという問題があった。

前記先行技術の(4)、(5)は発信元情報と原稿情報がとを区別して送信するものであり、送信時間が長くなったり、受信側の記録紙に無駄が発生したりするという問題があった。

本発明の目的は、前記した従来の方式の問題点を除去し、発信元情報の情報量を多くでき、かつ通信時間が長くなったり、受信側の記録紙に無駄が発生したりすることのないファクシミリの送信情報合成装置を提供することにある。

(課題を解決するための手段および作用)

前記目的を達成するために、請求項(1)の発明は、オーバーレイを指示する手段を少なくとも備えた入力手段と、入力されたオーバーレイ用情報を一旦格納する第1のメモリと、読込まれた送信原稿情報を一旦格納する第2のメモリと、読込まれた送信原稿情報を一旦格納する第1のメモリと、前記第1のメモリおよび第2のメモリに格納された情報の一方を縮小する縮小部と、前記縮小部によって縮小された情報を格納する第3のメモリと、前記

第3のメモリに格納された縮小情報と、非縮小情報とを互いに重ならないように合成するオーバーレイ制御部とを具備した点に特徴がある。

また、請求項(2)の発明は、オーバーレイを指示する手段を少なくとも備えた入力手段と、入力されたオーバーレイ用情報を一旦格納する第2のメモリと、読込まれた送信原稿情報を一旦格納する第1のメモリと、前記送信原稿情報の中に、前記オーバーレイ情報の文字データ部分、挿部等の情報部分のサイズ以上の空白域を検出できない時、前記第1のメモリの送信原稿を縮小する縮小部と、前記縮小部によって縮小された送信原稿を格納する第3のメモリと、前記第3のメモリに格納された送信原稿情報から、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域を検出し、その先頭アドレスを求める空白域探索部と、前記空白域に前記オーバーレイ情報の情報部分を合成し、前記第3のメモリに格納するオーバーレイ制御部とを具備した点に特徴がある。

この発明によれば、オーバーレイ用原稿が読込

まれると、この原稿情報は第2のメモリに格納される。次いで、送信用原稿情報が読込まれ、第1のメモリに格納される。この格納が終わると、前記空白域探索部は前記第1のメモリに格納された送信用原稿情報の中から、前記サイズ以上の空白域を探索し、見付からない場合には、前記縮小部によって、送信原稿を縮小し、前記第3メモリに格納する。

次に、前記空白域探索部は、第3のメモリに格納された送信用原稿から、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域を検出し、その先頭アドレスを求める。

前記オーバーレイ制御部は、前記空白域に前記オーバーレイ情報の情報部分を合成し、前記第3のメモリの前記空白域に格納する。

以上のようにして、送信原稿の空白域を自動的に探索し、前記オーバーレイ情報の情報部分のサイズ以上の空白域が見付からなければ、送信原稿を縮小して強制的に空白域を作成するようにしているので、所望の情報を原稿情報にオーバーレイ

することができる。

請求項(3)の発明は、前記とは別に、オーバーレイ情報を縮小して、送信原稿の空白部にオーバーレイ情報を合成するようにした点に特徴がある。(実施例)

以下に、図面を参照して、本発明を詳細に説明する。

第1図は、本発明のファクシミリの送信情報合成装置の構成の一実施例の機能ブロック図を示す。

図において、1はファクシミリ装置の操作部等からなる入力手段であり、この入力手段1にはオーバーレイ(合成)指示キー、テンキー、セット又はスタートキー等が設けられている。2は原稿を送取る読取部、3は通常のファクシミリ送受信のための機能(例えば、原稿情報を圧縮・伸張、変調等)を実行したり、各機能の動作タイミングを制御したり、図示されているブロックの動作を制御したりする制御部(CPU)である。

4は原稿情報をイメージで格納する第1のメモリ、5はオーバーレイ用原稿をイメージで格納す

る第2のメモリである。これらのメモリはページメモリが経過である。5は前記第2のメモリ5に格納された文字データ部分、符号等の情報部分(以下、文字データ部分と略す)を抽出し先頭アドレスを求めると共に、該文字データ部分の主走査方向のビット数($=N0$)と、副走査方向のライン数($=L0$)、すなわち文字データ部分のサイズを求める機能をもつオーバーレイ情報抽出制御部である。

7は前記第1のメモリ4の中から、オーバーレイ情報抽出制御部6で求めた主走査方向のビット数($=N0$)と、副走査方向のライン数($=L0$)のエリアより大きな空白域を探索する空白域探索部である。

8は前記空白域探索部7で求められた空白域の先頭アドレスにより、第1のメモリ4または第3のメモリ11から送信源側のデータを読みだし、一方前記オーバーレイ情報抽出制御部5で求められた前記文字データ部分の先頭アドレスにより、第2のメモリ5から原稿情報を取出し、両者の抽

取(OR)を取って、再度第1のメモリ4または第3のメモリ11の該当アドレスに格納するオーバーレイ制御部である。

9はダイヤリング、プロット等による送信手続き等を行う送信手段である。

また、10は前記第1のメモリ4に格納された原稿情報の中に前記オーバーレイ情報の文字データ部分のサイズ以上の空白域が見付からなかった場合に、予定の縮小率で前記原稿情報を縮小する縮小部である。11は前記縮小部10で縮小された原稿情報を格納する第3のメモリである。このメモリ11もページメモリで形成されている。

第2図は前記オーバーレイ情報抽出制御部5の動作の説明図である。いま、前記第2のメモリ5に格納されたオーバーレイ用原稿12のデータが第2図の“0”、“1”で示されている内容であったとすると、オーバーレイ情報抽出制御部5は、黒色のデータ“1”が最初および最後に現れたライン $n1$ と $n2$ とからオーバーレイ用原稿11のライン数 $L0$ ($=n2-n1$)を求める。また、前

記ライン $n1$ ～ $n2$ の中で最も左のビット $m1$ と最も右のビット $m2$ を求める。そして、オーバーレイ用原稿12の文字データ部分の主走査方向のビット数 $N0$ ($=m2-m1$)を求める。

以上のようにして、オーバーレイ用原稿12の文字データ部分の主走査方向のビット数 $N0$ と、副走査方向のライン数 $L0$ が求められる。

また、オーバーレイ情報抽出制御部8は、黒色のデータ“1”が最初に現れたライン $n1$ の先頭アドレス(図示の場合は、“X0”)と、前記ライン $n1$ ～ $n2$ の中で最も左側に現れる黒色のデータ“1”が左端のビットから何ビット目であるかを求める。図示の場合は、最も左側に黒色のデータ“1”をもつラインはライン $n1$ であり、左端のビットから4ビット目に“1”が存在する。そこで、オーバーレイ用原稿情報中の文字データ部分の先頭アドレスは、“X0+3”と決定される。

前記のようにして求められた、オーバーレイ用原稿12の文字データ部分の主走査方向のビット

数 $N0$ と、副走査方向のライン数 $L0$ は、前記空白域探索部7およびオーバーレイ制御部8に送られ、また、前記ビット数 $N0$ 、ライン数 $L0$ 、および文字データ部分の先頭アドレスは、オーバーレイ制御部8に送られる。

次に、空白域探索部7は、第1のメモリ4に格納された原稿情報から、オーバーレイ用原稿12の文字データ部分の主走査方向のビット数 $N0$ と、副走査方向のライン数 $L0$ に相当する大きさの空白域の探索を行う。この探索は、具体的には、前記文字データ部分の探索の逆の方法で行われる。

すなわち、まず原稿情報を1ライン毎にスキャンして、前記ビット数 $N0$ 以上の空白、すなわちビット数 $N0$ 以上のデータ“0”の連続が存在するか否かの検査がなされる。そして、該空白が存在した場合には、その直下にライン数 $L0$ 以上の空白が連続して存在するか否かの検査がなされる。逆に、該空白が存在しない場合には、次のラインに対して前記探索が行われる。

以上のようにして、主走査方向にビット数 $N0$ 、

副走査方向にライン数 $L0$ 以上の空白域が見付かった場合には、該空白域の先頭アドレスが前記オーバーレイ制御部8に送られる。

一方、前記空白域が見つからなかった場合には、該空白域探索部7は縮小部10を起動して第1のメモリ4に格納されている原稿情報を縮小する。縮小された原稿情報は、第3のメモリ11に格納される。そして、空白域探索部7は第3のメモリ11に格納されたデータを読みだし、再度前記大きな空白域の探索を行う。

なお、前記縮小部10で縮小されたデータはできるだけ第3のメモリ11の後ろの方に詰めて格納し、前の方に空白域を作ろうにすることがよい。

次に、本実施例の動作を、第1図および第3図を参照して説明する。第3図は、本実施例の動作を説明するためのフローチャートである。

主制御部3はまず入力手段1からオーバーレイキーによるオーバーレイの指示があったか否かの判断をする(ステップS1)。この判断が肯定になると、スタートキーがオンにされたか否かの判

断がなされる(ステップS2)。ステップS2の判断が肯定になると、ステップS3に進んで、読取部2からオーバーレイ情報を読み取り、第2のメモリ5にイメージで格納する動作が行われる。

次に、オーバーレイ情報抽出制御部6は、前記第2図で説明した動作を行い、第2のメモリ5に格納されているデータから文字データ部分の先レイ情報抽出制御部8は前記文字データ部分の先頭アドレスを求める動作をする(ステップS4)。該オーバーレイ情報抽出制御部8は、オーバーレイ用原稿12の文字データ部分の主走査方向のビット数 $N0$ と、副走査方向のライン数 $L0$ を求め、このデータを前記空白域探索部7に送る(ステップS5)。なお、前記先頭アドレス、 $N0$ 、 $L0$ は、オーバーレイ制御部8にも送られる。

次いで、読取部2は送信すべき原稿を読み取り、原稿情報をイメージで第1のメモリ4に格納する(ステップS7)。

次に、空白域探索部7は、前記第1のメモリ4を1ライン幅にアクセスし、主走査方向のビット

数が $N0$ 以上、ライン数が $L0$ 以上の大きな空白域の探索が行われる(ステップS3～S12)。前記空白域が見つかった(ステップS12が肯定)、ステップS13に進み、該空白域の先頭アドレスがオーバーレイ制御部8に送られる。

続いて、前記オーバーレイ制御部8は、前記空白域の先頭アドレスならびに前記主走査方向のビット数 $N0$ および副走査方向のライン数 $L0$ に基づいて第1のメモリ4から前記原稿情報を読みだし、一方前記文字データ部分の先頭アドレスならびに前記主走査方向のビット数 $N0$ および副走査方向のライン数 $L0$ に基づいて第2のメモリ5からオーバーレイ情報の文字データ部分を読みだし、両データの論理和を取り、第1のメモリ4の前記空白域に格納する動作が行われる(ステップS14)。

ステップS14の処理が終了すると、主制御部3は第1のメモリ4からデータを読みだし、通常の送信処理(例えば、符号化、変調等)をして、送信手段9を経て回線に送出する(ステップ

S15)。

一方、前記第1のメモリ4中に、主走査方向のビット数が $N0$ 以上、その真下の副走査方向のライン数が $L0$ 以上の大きな空白域が見付からなかった場合には(ステップS16が肯定)、ステップS17に進み、縮小部10が起動される。縮小部10は第1のメモリ4に格納された原稿情報を所定の縮小率で縮小し、第3のメモリ11に格納する。

次いで、前記空白域探索部7は第3のメモリ11の中に前記大きな空白域が存在するかどうかの探索を行う(ステップS18～S21)。空白域が見付かると(ステップS21が肯定)、ステップS22、S23に進み、オーバーレイ制御部8は第3のメモリ11に格納されている原稿情報の空白域の先頭アドレスにより、該空白域のデータを読みだし、第2のメモリ5に格納されているオーバーレイ情報の文字データ部分との論理和をとり、第3のメモリ11の該空白域のアドレスに格納する。

ステップS23の処理が終了すると、主制御部3は第3のメモリ11からデータを読みだし、通常の送信処理(例えば、符号化、変調等)をして、送信手段9を経て回線に送出する(ステップS24)。

以上のように、本実施例によれば、送信情報の中に、所望の情報を合成できる大きさの空白域が存在しない場合、前記送信情報を縮小して前記所望の情報を合成できる大きさの空白域を強制的に作り、該空白域にオーバーレイ用原稿の文字データ部分を合成して送出できるので、前記従来の方式の欠点を解消した送信をすることができる。

なお、前記の縮小によっても前記大きさの空白域が得られない場合には、縮小部10の縮小率を変更して、再度第1のメモリ4のデータを縮小するようにしてもよい。

次に本発明の第2実施例を図4図を参照して説明する。

この実施例が前記第1実施例と異なる所は、前記第1のメモリ4に格納した送信情報の中に、前

記第2のメモリ5に格納されたオーバーレイ用原稿の文字データ部分を挿入する大きさの空白域がない場合、前記文字データ部分を縮小して、第3のメモリ11に納めた後、該文字データ部分を前記送信情報の空白域に合成するようにしたことである。

第4図が第1図と異なる所は、第2のメモリ5のオーバーレイ情報を縮小部10に送り、縮小したオーバーレイ情報を第3のメモリ11に格納するようにしたことである。

次に、本実施例の動作を図5図のフローチャートを参照して説明する。

第1実施例の場合と同様に、まず入力手段1のオーバーレイキーからオーバーレイ処理の指示を行う(ステップS1)。この判断が肯定になると、スタートキーがオンにされたか否かの判断がなされる(ステップS2)。ステップS2の判断が肯定になると、ステップS3に進んで、読取部2からオーバーレイ用原稿を読み取り、第2のメモリ5にイメージで格納する動作が行われる。次に、オ

ーレイ情報抽出制御部6は、前記第2図で説明した動作を行い、第2のメモリ5に格納されているデータから文字データ部分の先頭アドレスを求める動作をする(ステップS4)。続いて、該オーバーレイ情報抽出制御部6は、オーバーレイ用原稿11の文字データ部分の主走査方向のビット数N0と、副走査方向のライン数L0を求め、このデータを前記空白域探索部7に送る(ステップS5)。なお、前記先頭アドレス、N0、L0は、オーバーレイ制御部8にも送られる。

次いで、読取部2は送信すべき原稿を読み取り、原稿情報をイメージで第1のメモリ4に格納する(ステップS6)。

次に、前記原稿情報の中から、所定サイズ以上の空白域、例えば前記オーバーレイ情報の文字データ部分のサイズに前記縮小部10の縮小率を掛けたサイズ以上の空白域を抽出する(ステップS7)。なお、この場合、前記サイズ以上の空白域ではなく、全部の空白域を抽出するようにしてもよい。

続いて、該空白域が、前記オーバーレイ情報抽出制御部6から得た前記主走査方向のビット数N0および副走査方向のライン数L0のデータに相当する大きさの空白域であるか否かの判断をする(ステップS8)。この判断が肯定になると、該空白域の先頭アドレスはオーバーレイ制御部8に送られる(ステップS13)。

一方、ステップS8の判断が否定の時には、該空白域の先頭アドレスと大きさを記憶する(ステップS9)。次に、第2のメモリ5からオーバーレイ情報を読みだし、縮小部10で縮小して第3のメモリ11に格納する(ステップS10)。続いて、空白域探索部7は、縮小されたオーバーレイ情報の文字データ部分の主走査方向のビット数(-N1)と、副走査方向のライン数(-L1)とを求め(ステップS11)、これに基づいて、ステップS9で記憶された空白域の中から、前記縮小された文字データ部分より大きな空白域を選り動作を行う(ステップS12)。このようにして、原稿情報の中の空白域が求められると、空白域探

索部?は先頭アドレスをオーバーレイ制御部8に送る(ステップS13)。

ステップS14では、オーバーレイ制御部8は、前記空白域探索部?から得た先頭アドレス並びに前記主走査方向のビット数N1および副走査方向のライン数L1により、第3のメモリ11と第1のメモリ4をアクセスする。そして、両メモリから読み出したデータを論理和処理し、第1のメモリの該当空白域に再度格納する。

上記のようにして第1のメモリ4上で合成された原稿情報は、主制御部3で圧縮され、送信手段9を用いて送信される。

以上のように、本実施例によれば、送信情報の中に、所望の情報を合成できる大きさの空白域が存在しない場合、文字データ部分を縮小して前記空白域に挿入できる大きさにするようにしているので、送信情報の空白域に該文字データ部分を合成して、相手側に送信することができる。

なお、前記の縮小によっても、前記空白域に入る大きさの文字データ部分にできない場合には、

縮小部10の縮小率を変更して、再度第2のメモリのデータを縮小するようにしてもよい。

また、前記第1、第2実施例では、オーバーレイ用情報を読取部2を介して第2のメモリ5に書き込むようにしたが、本発明はこれに限定されず、入力手段1からコード入力し、これをイメージデータに変換して第2のメモリ5に書き込むようにしてもよい。

さらに、前記読取部?または入力手段1から入力されたオーバーレイ用情報を、例えば第6図に示されているような予め用意されたフォーマットに書き込み、これを縮小して原稿情報の空白域に合成するようにしてもよい。

また、前記第1、第2の実施例では、送信情報の空白域とオーバーレイ用情報の文字データ部分の領域との大きさを比較し、該空白域が文字データ部分より小さい時に、送信情報あるいは文字データ部分を縮小するものであったが、前記比較をすることなく、自動的に前記送信情報あるいは文字データ部分を縮小して、両者を合成するようにし

てもよい。

(発明の効果)

請求項(1)の発明によれば、送信情報およびオーバーレイ情報の文字データ部分のいずれか一方を縮小して、送信情報の空白域に合成するようにしているので、簡単な手段により送信情報にオーバーレイ情報を合成できるという効果がある。また、発元情報等のオーバーレイ情報の情報量を多くでき、かつ送信時間が長くなったり、受信側の記録柱に負荷が発生しないという効果がある。

請求項(2)の発明によれば、原稿情報の中に、オーバーレイ情報の文字データ部分のサイズより大きな空白域がない場合には、原稿情報を縮小して空白域を強制的に作成するようにしているので、該原稿情報に、任意のオーバーレイ情報を挿入することができる。したがって、請求項(1)の発明と同様に、発元情報等のオーバーレイ情報の情報量を多くでき、かつ送信時間が長くなったり、受信側の記録柱に負荷が発生しないという効果がある。

請求項(3)の発明によれば、請求項(2)とは逆

に、オーバーレイ情報を縮小するようにしているので、原稿情報の空白域に任意のオーバーレイ情報を合成することができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図、第2図はオーバーレイ情報の先頭アドレスを求める説明図、第3図は本実施例の動作を説明するフローチャート、第4図は本発明の第2実施例のブロック図、第5図は第2実施例の動作を説明するフローチャート、第6図はオーバーレイ情報のフォーマットの一例を示す図である。

1…入力手段、2…読取部、3…主制御部、4、5、11…第1、第2、第3のメモリ、6…オーバーレイ情報抽出制御部、8…オーバーレイ制御部、10…縮小部

代理人 弁理士 平木達人 外1名

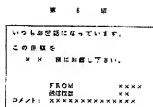
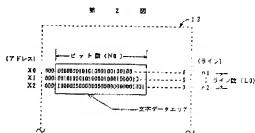
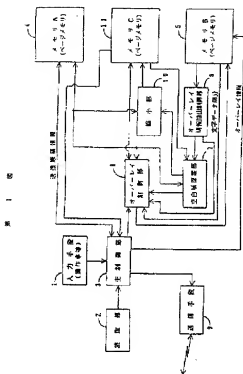
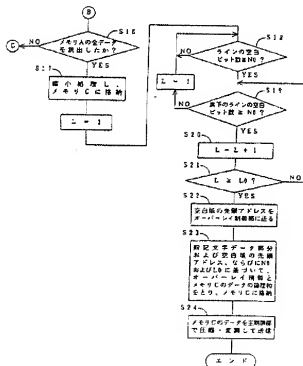
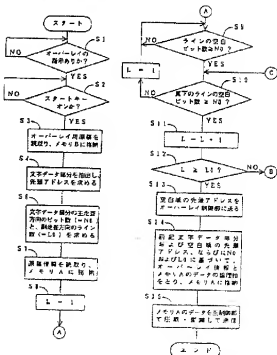
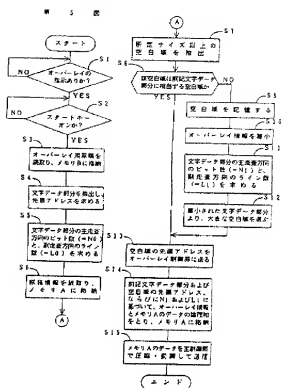
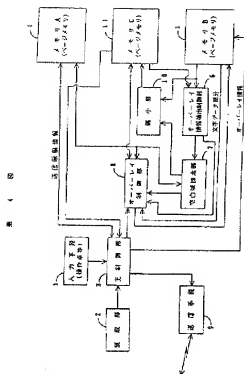


表 2 図 (その 2)



第 3 節 (その 1)





第1頁の続き

⑦発明者 徳坂 隆治 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社
 社岩槻事業所内
 ⑦発明者 城戸 直治 埼玉県岩槻市府内3丁目7番1号 富士ゼロックス株式会社
 社岩槻事業所内